



## 職業病

教育研修部

伊藤 秀明

ITO Hideaki

皆さん、こんにちは。講習会の運営業務などを担当している伊藤です。

早いもので、この仕事に就いてから1年。この間、全国19の都道府県へ出張し、その中には初めて訪れた場所も4県ありました。各協会さんや多くの方々との出会いがあり、充実した1年でした。

出張先各地の街並みは、それぞれ個性があります。「歴史、文化、気候、風土など、さまざまな要因が、今の街を、人を育てている」、そんな気がします。私は、街の雰囲気や五感を感じ取ろうと、路地を巡るのですが、残念なことに、どうしても下の方を向いて歩いてしまいます。

以前、下水道や廃棄物の仕事に長年携わってきたためか、つい、路上のマンホールやごみ集積場に目がいってしまいます。「この地域の下水は合流式？分流式？」、「ゴミは正しく分別しているだろうか、中を開けてチェックしてみたい！」、などの衝動にかられます。

これらは、私の体に染みついた「職業病」ともいえるべきもの。せっかく、美しい街や人の中にながら、私の心は「下」の方に向いてしまうのです m(.\_.)m。

今年度も多くの街へ伺いますが、できるだけ上を向こうと思います。そして、皆さんにお会いするのを楽しみにしています (^O^)/

## 編集後記

新年度になりました。本年度も電子マニフェスト事業、教育研修事業をはじめ、JWセンターの各事業に格別のご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。

特に、電子マニフェストは4月より一部料金を値下げしていますので、是非ご利用ください。

今号から来年1月冬号までの4回、新たにスタートしますコラムは中間貯蔵・環境安全事業(株) 代表取締役社長 谷津様に、連載講義は「廃棄物処理施設の課題」について(一社)廃棄物処理施設技術管理協会名誉会長 寺嶋様にご執筆いただきます。

「行政のうごき」は札幌市に、電子マニフェストの「ユーザ事例紹介」は(株)セブン&アイ・ホールディングスにご執筆いただきました。

「産廃クローズアップ」は(株)リコー リコー環境事業開発センターにお伺いし、複写機、プリンター類のリユース・リサイクルや環境技術の実証実験について取材させていただきました。一旦休止していた工場の敷地は“ビオトープ”状態だったようですが、こだわりの部材を取り入れた環境情報発信基地に再生されました。平成31年度には駒門スマートIC(仮称)が隣接される予定で、物流の利便性が向上するとのこと。

ご多忙の中、記事をお寄せいただいた執筆者の皆様、取材や編集にご協力いただいた皆様、本誌を読んでくださった読者の皆様に心から感謝申し上げます。(田中)

本誌に関する連絡先：総務部広報室 e-mail:jigyo@jwnet.or.jp

### 【アンケートへのご協力のお願い】

より充実した誌面作りのために、本誌の記事内容等に関する読者アンケートを当センターホームページ(以下のURL)に掲載しています。本誌に関するご意見・ご要望を是非、お聞かせください。

URL <http://www.jwnet.or.jp/publish/kikansi/index.html>

日廃振センター情報(季刊) VOL.17 NO.1 発行日：平成29年4月17日発行 発行人：岡澤和好  
発行所：公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター

〒102-0084 東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア7階  
TEL：03-5275-7111 FAX：03-5275-7112 <http://www.jwnet.or.jp/>  
デザイン・印刷 株式会社ぎょうせい